

東京湾海況情報 13 - 10

貧酸素水塊動向調査(8月20日分)ほか

平成13年8月23日
千葉県水産研究センター 富津研究所
〒293-0042 富津市小久保3091
0439-65-3071 FAX 0439-65-3072

資料：水質観測(8/20 東京内湾：わかふさ) ぶさなみ観測資料，一都三県漁海況速報，東京湾口海況図

貧酸素水塊動向調査結果(8月20日分)

8月14～20日の北東風で底層水が内湾北部に移動し，18～20日に局所的に青潮が発生したほか，低水温・高塩分水が湾奥や盤洲周辺の表層に出現していました。

ただし22日の台風11号の通過により，今回の観測結果と大きく変動している可能性もあります。

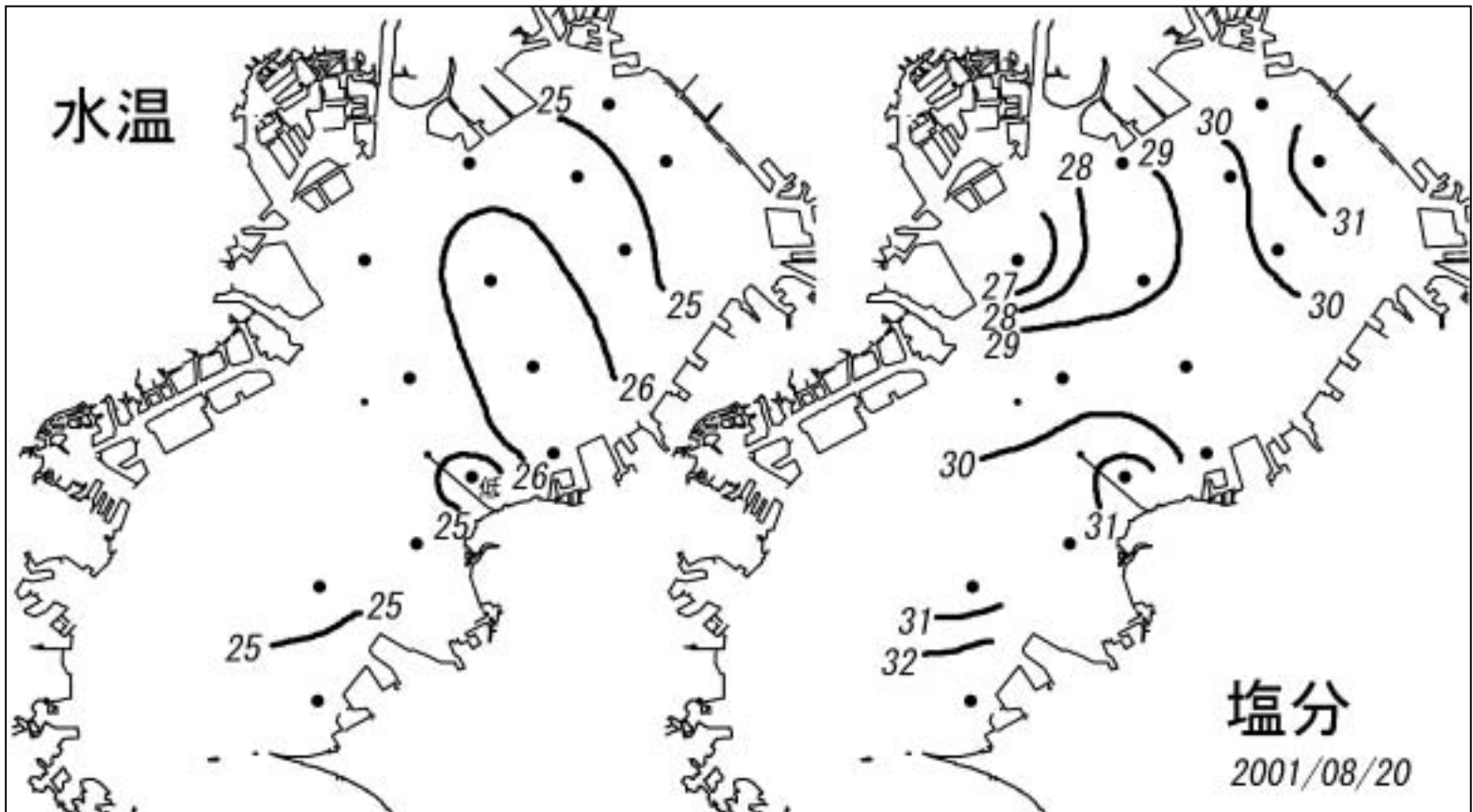


図1 表層の水温・塩分分布

水温・塩分の状況(図1～2，表1)

表層の水温は24～26，塩分は26～32でした。内湾縦断面の鉛直分布では水温21～26，塩分28～33でした。底層水が湾奥部に移動しています。

赤潮の状況(図3，表1)

赤潮の発生は湾奥の一部のみでした。主なプランクトンは湾奥が珪藻のスケルトネマ(*Skeletonema* sp.)でした。前回の観測で多くみられていた夜光虫(渦鞭毛藻のノクチルカ *Noctiluca scintillas*)は今回みられませんでした。(千葉県の赤潮の目安...色：オリーブ～褐色，溶存酸素の飽和度：150%以上，透明度：1.5m以下，pH：8.5以上，クロロフィルa量：50 µg/L以上)



図3 赤潮の分布

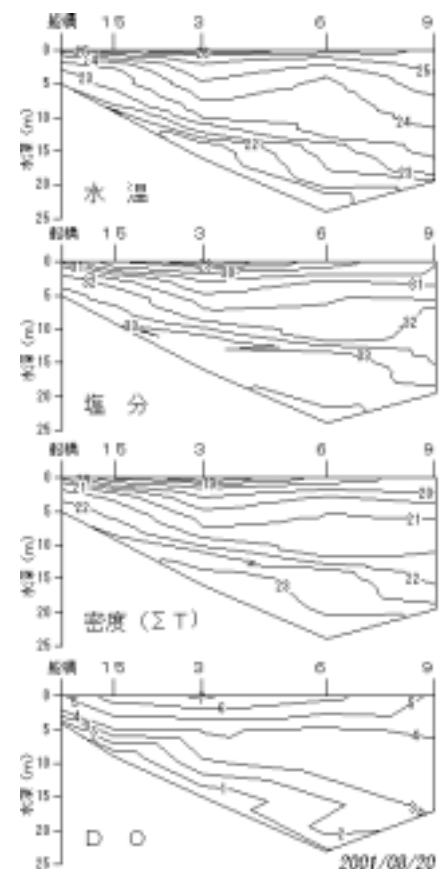


図2 内湾縦断面の鉛直分布

貧酸素水塊の状況（図2，4，表1）

北東風により貧酸素水塊の中心は内湾北部となっています。

水産研究センターでは2.5 ml / L（酸素飽和度約50%）以下を貧酸素水としています。漁業種類によってはそれ以上でも影響がでる場合もありますので注意してください。

観測日記

- ・ 今回の観測は台風の影響が予想されていたにもかかわらず、内湾は近年まれにみる「ベタなぎ」でした。うねりが内湾まで到達していなかったこと、大型船が台風避難のためほとんど停泊していたためとのようです。

東京湾情報ボックス

- ・ 8月18～20日船橋周辺で局所的な青潮発生



図4 底層の溶存酸素量分布 (ml / L)

表1. 水質調査結果(表層)

調査年月日:平成13年8月20日

調査点	透明度	水温	塩分	pH	クロロフィルa量 (μg / l)	DO(底層: ml / L)
船橋	1.6	24.7	30.97	8.1	分析機器故障のため測定(年度版に)	1.7
St. 15	2.2	25.9	29.58	8.5		0.04
st. 3	2.0	26.4	28.50	8.5		0.2
St. 6	2.2	25.8	29.80	8.5		0.9
St. 9	5.2	25.4	30.49	8.3		3.1
盤洲Cブイ	1.9	26.1	29.58	8.5		2.6
盤洲Bブイ	2.8	24.6	31.78	8.3		2.9
St. 8 (盤洲Aブイ)	2.9	25.9	30.08	8.5		2.5
富津ベタ	2.5	24.2	32.15	8.1		3.4

透明度, pH, クロロフィルa量の網掛けは赤潮, DOの網掛けは貧酸素水の基準に達していることを示しています。